

●天然素材を生かした家
●床下から天井までの収納力
●大人数のゲストも快適に過ごせる空間

建築データ

構造規模 ■ 木造・2階建て、延床面積/138.37㎡(約41坪)
 主な外部仕上げ ■ 屋根/洋瓦、外壁/ジョリパット仕上、建具/玄関ドア:断熱ドア、窓:樹脂サッシ
 主な内部仕上げ ■ 床/三層フロア、壁/天井/ケンコート
 断熱仕様 ■ (充填断熱)床下/フクフォームEco80mm、壁/高性能グラスウール16kg100mm、天井/吹込グラスウール10kg210mm
 暖房方式 ■ エアコン・循環式床暖房



東北優良住宅研究会 宮城支部

アンティーク調の照明やステンドグラス、モザイクタイル。ヨーロッパのカフェのようなイメージでつくられたAさん宅は、木の風合いを存分に感じたいと、キッチンカウンターは一枚板でフローリングも無垢材を使用しています。珪藻土の壁と木の組み合わせが優しい雰囲気をつくり出すLDKはなんと19畳。さらに6畳の和室が続きます。小さな子ども2人のAさん一家には広すぎるようにも感じますが、親族が集まる事が多く、大人数で快適に過ごすことを考えての間取りになりました。

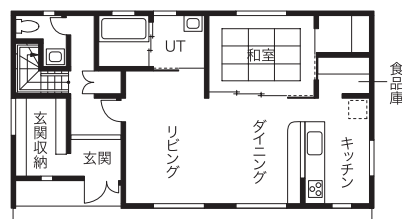
和室はあえて小上がりに。腰掛けるのにもちょうどよく、35センチ上げることで和室の床下を収納スペースにしたのです。長さ1.5メートルの引き出しには大きなもの、普段は使わないものを収納。この大収納がこの住まいの特徴です。玄関横には靴のほかにコートやバッグまで置ける独立したスペースがあり、キッチン横にも買い置きた食材を保存できる食品庫が。各寝室にクローゼットがついているのはもちろん、主寝室の奥にはクローゼットとは別に書斎としても使える3.5畳のウォークインクローゼットが続きます。屋根裏も収納スペースになっており、文字どおり上から下まで無駄なく物が置けるようになっています。

現在2人のお子さんは小学生と幼稚園児。将来荷物が増えていくことを想定することで、長い年月を経ても家族とゲストみんなが快適に過ごせる空間となりました。

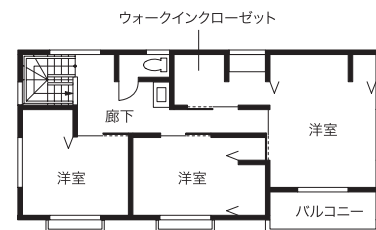
- 1.「床板には無垢材を使いたい、そしてできれば床暖房にもしたい」。通常は難しいその組み合わせを三層フロアの床材で実現
- 2.奥さんの希望は「家で一番いい場所をキッチンに」。そこで、東と南に面した角をキッチンにし、2面採光に。朝から陽が射し込む明るい空間になった。奥は食品庫
- 3.隅当たりのいい高台に建つため、将来的には太陽光発電も導入できるように、配線スペースは新築時に確保
- 4.主寝室のクローゼット横に用意された3.5畳のスペース。静かに読書をする場所としても、広く明るいウォークインクローゼットとしても使える
- 5.モザイクタイルをあしらった洗面スペース
- 6.写真左の壁にはめ込んだステンドグラスはAさん自らが用意したもの
- 7.完成後もウッドデッキや日除けをプラスするなど進化を続けるAさん宅



平面図



1F



2F

tohoku yuryo jutaku kenkyukai miyagishibu
 東北優良住宅研究会 宮城支部

問い合わせ先事務局
 (株)北洲
<http://www.hokushu.net>
 仙台市宮城野区扇町5丁目3-20
 TEL.022-237-5711